

中国における龍舞の役割とその音楽  
---日本の龍舞との比較を通して---

長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

涼松 育子

本博士論文では、現在の中国における龍舞がどのように行われているかを探り、中国における龍舞の役割や意味合いを考察した。中国と日本の龍舞の音楽にも焦点を当て、様々な側面を持っている中国の龍舞における音楽の位置づけも考えて、新たな龍舞の音楽の可能性を示した。

第1章では、中国の龍や龍舞の歴史や現在の龍舞の実態を探った。中国の龍・龍舞の歴史からは、龍舞文化の役割とされている「祈雨祈福」、「娛神娛己」、「彰力显威」、「興旺人丁」、「辟邪納福」が、これまでの龍舞の形成過程により獲得してきたものであったことがわかり、伝統的な龍舞の役割を再確認した。龍舞の実態としては、文化大革命期後から現在までの龍舞を取り上げた。調査の結果、龍舞は以下の3つの役割を果たしていることがわかった。現在、中国では龍舞が非物質文化遺産として認定され観光政策とも結びつき、文化資源として位置付けられていた。龍舞は多くの地域で行われているが、中国の遺産とすることで、中国の文化であるということも明文化され、「人民」としての意識づけにも結びついていた。教育活動の中では、民族伝統体育の一つとして、民族性や伝承性を持ち、団結力や社会安定のためのもので機能していた。競技化は、東南アジア諸国の影響を受けて行われたものであったが、競技性を高めることにより、従来の龍舞とは切り離されて競技に特化した新たな龍舞が誕生しているとした。

第2章では、日本の三大中華街がある横浜、神戸、長崎の三都市で行われている龍舞を取り上げ、各地の伝承と音楽について明らかにした。横浜では、2つの華僑学校によって伝承が行われていた。横濱中華學院では、代々継承されてきた比較的容易なリズムを使用しているのに対し、横浜山手中華学校では、複雑なリズムを取り入れた音楽を演奏した。2校が異なる音楽を使用することで、その団体の違いを明確にさせているとした。神戸では、東南アジア華人から踊りや音楽を習得し、大会にも出場していることから、様々な楽器を用い、複雑なリズムの音楽を奏していた。龍の動きも種類が多くあるが、動きごとに異なる音楽を使用することで、動きと音楽がしっかりと一致をしており、音楽も動きに合わせて拍子が変わるなどの工夫がされていた。長崎は、中国や日本の横浜、神戸で行われている龍舞とも異なる龍体や楽器を使用して、龍舞が行われていた。長崎の龍舞（龍踊）における音楽は、2つの唱歌で言い表される音楽によって構成されていた。楽器は、龍舞が本来雨乞いの儀式であることを表現し、雨や風の音など一つ一つに音の表象があった。三都市では、教育現場で龍舞が行われていたが、行う目的や意味合いによって地域によって異なる音楽が使用されていた。日

本の龍舞の音楽の例からは、幅広い年齢層によって伝統を継承していくのであれば、単純な音楽構成であることが求められ、魅せることに重点を置くのであれば、複雑な音楽構成や旋律楽器の使用を要求されているのだと考えた。

第3章は、現代中国の龍舞の音楽の分析をするとともに、第2章の日本の龍舞の音楽における考察も踏まえて、龍舞の音楽の新たな可能性を示した。教育現場では打楽器が比較的単純なリズムを演奏することによって構成され、旋律楽器が各地域の民族性を表すものとして位置付けられていた。競技舞龍では、踊りと音楽の一致が求められているが、明確にこの動きにこの音楽をつけるという決まりは出されておらず、ある程度の自由度をもって音楽が編成されていることがわかった。地方の龍舞では、音楽を踊り手が演奏することは殆どなく、CDなどの音源に合わせて演技を披露していた。これらの考察を受けて、第3章の最後には、龍舞の「8字舞龍」、「円を描く」動き、「揺船舞龍」の3つの動きに合わせた音楽を作曲した。日本の龍舞の音楽の分析から、音象をもった長崎の龍踊で使用される音楽を使用したりなどの工夫をし、踊りと音楽が一致させる音楽ができないかを試みた。

終章では、「究明したこと」と「今後の課題」についてまとめた。本博士論文では、現代中国における龍舞の役割と現代中国における龍舞の音楽の位置づけについて明らかにすることができた。近年、龍舞は、文化資源、教育、競技と新たな側面を付加されて、音楽も行われる場や機会によって、それぞれに合ったものが作り出されていた。舞龍の音楽は踊りよりも重視されていないと結論づけられる一方で、様々な音楽が作り出され、使用できることから、可変性が高いと考えた。今後の課題としては、現地の様々な龍舞の実態を探り、より現代中国社会における龍舞の役割や位置づけについて考えていきたい。海外華人の龍舞にも目を向け、中国文化や芸能の可変性についても明らかにしていくことを目標としていると述べた。